

53 刀剣類 6 振

関鍛冶職の氏神である春日神社には多くの刀剣類が奉納されてきましたが、その中の 6 振が関市重要文化財になっています。

この 6 振は南北朝時代の兼友作の刀、江戸時代初期の照門作の脇差・家久作の薙刀・兼門作の脇差・国常作の脇差、明治時代初期の兼吉作の刀です。

照門、家久、兼吉の刀などは春日神社に参籠して作ったものです。また、他の 3 振は当時の関の有力者によって寄進されたものです。

明治時代初期の兼吉は明治維新の時の廃刀令にも挫けず、1 人 韃の火を消すことなく、生き抜いた関鍛冶職人です。

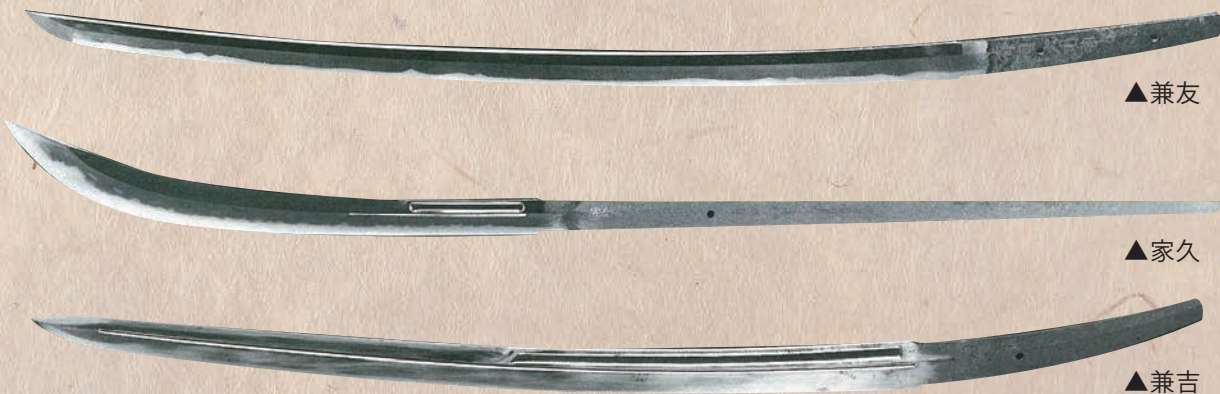
豆知識 参籠一祈願のため、神社や寺院などに、ある期間こもること。

関の文化財探訪

その 30

53 関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎ 46-2313



アクセス

長良川鉄道・刃物会館前駅から徒歩約 5 分
東海北陸自動車道関 IC から車で約 10 分

※公開はしていません。

広報せき No.1623 2013.1.1

発行／岐阜県関市 編集／秘書広報課 〒501-3894 関市若草通 3 丁目 1 番地 ☎ 0575-22-3131 ㊚ 0575-23-7744

E-mail hishokoho@city.seki.lg.jp ホームページ <http://www.city.seki.gifu.jp/>

「広報せき」は、ボランティア団体のご協力で、視覚障がいのある方に音訳（朗読）テープと点字による広報をお届けしています。